

事例 No.214

田野地区社会福祉協議会

《組織について》

会長 1 名・副会長 2 名・理事 6 名
 会計 1 名・監査 1 名・委員 4 名
 役員 計 15 名
 田野地区住民

《組織の設立経緯》

安全・安心のあるまち
 みんなで仲良く暮らせるまちに
 元気で長生きできるまちづくり



活 動 内 容

- ① ふれあい食事会
 地区社協と民生委員が協力し、65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に年1回行っている。
- ② 敬老会
 各種団体が共催して、75歳以上の高齢者を対象に祝金の贈呈を行っている。
- ③ 子どもの見守り活動
 地域安全推進委員会、民生委員会、交通指導員が協力し小学生を対象に活動している。
 また、地域安全推進委員会が主となり、地区全域のパトロールも行っている。
- ④ 災害対策について
 自治会、防災委員会、防火委員会、漁協が主となって計画し町民全体を対象に年1回災害訓練を実施。
- ⑤ 健康講座
 公民館、老人クラブ、地区社協が協力し、町民全体を対象に年3～4回開催している。
- ⑥ 映画鑑賞
 自治会館にて、人権映画鑑賞の実施。

工 夫 ・ 問 題 点

地理的特性の問題

- ・ 交通手段の問題…高齢者の買い物、医療機関等への交通手段
 毎週4回のゴミの運搬等
- ・ 防災に関する問題…町内道路狭く、緊急車輛が通れない
- ・ デマンドバス、デマンドタクシーの支援

活 動 予 定

- ・ 高齢者、障害者等の生活状況の調査活動
- ・ 福祉講演会や研修会を現在より多く開催
- ・ 小地域ネットワーク活動（高齢者への声かけ、見守り活動）
- ・ 防災活動（特に東南海、南海地震に備えて）
- ・ 地域内の清掃美化活動
- ・ 非難訓練を今後も自治会、防災委員会、漁協組合による共催にて実施